

送りがなプリント はってん①(もとの かたちにもどす)

なまえ

小3/もとの 形に もどす(1/5)

ひづけ

形が かわった ことばを もとの かたちにもどす

文の 中の かたち

放した

→

もとの かたち

放す

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちにもどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) なつの ひるは とても 暑かった。

もとの かたち

暑

(2) つぎの しあいは ぜったいに 負けない。

もとの かたち

負

(3) かみを 短く かった。

もとの かたち

短

(4) まいあさ ろくじに 起きます。

もとの かたち

起

(5) この かばんは 軽くて ちやすい。

もとの かたち

軽

(6) 「いっしょに ピアノを 習おう」と さそった。

もとの かたち

習

(7) ともだちは だれより 速く はしる。

もとの かたち

速

(8) ボールを つよく 打って みた。

もとの かたち

打

(9) にもつを いれすぎて かなり 重かった。

もとの かたち

重

(10) にわに ひまわりを 植えた。

もとの かたち

植

(11) この スープは 温かくて おいしい。

もとの かたち

温

(12) みちを みぎに 曲がった。

もとの かたち

曲

できたら:もとの かたちを 声に 出して、文の かたちと くらべて みよう。



送りがなプリント はってん①(ない・ます・よう)

なまえ

小3／ない・ます・よう の 形(2／5)

ひづけ

同じ ことばを ない・ます・よう の 形に する

れい 放す(はなす)

ない

放さない

ます

放します

よう

放そう

かん字の あとの 送りがなは、形が かわっても「もとの かたちの 送りがなの はじまり」から 書く。

ことばごとに、ない・ます・よう の 形に なるように かん字の あとに 送りがなを 書こう。

もとの かたち

ない

きょうは かさを もたない。

持

持つ

ます

いつも ハンカチを もちます。

持

(もつ)

よう

にもつを いっしょに もとう。

持

もとの かたち

ない

まだ なにも きめない。

決

決める

ます

あした みんなで きめます。

決

(きめる)

よう

さあ、はやく きめよう。

決

もとの かたち

ない

きょうは そとで あそばない。

遊

遊ぶ

ます

あした ともだちと あそびます。

遊

(あそぶ)

よう

さあ、みんなで あそぼう。

遊

もとの かたち

ない

この ことは まだ しらべない。

調

調べる

ます

あした としょかんで しらべます。

調

(しらべる)

よう

みんなで いっしょに しらべよう。

調

できたら:3つの 形を 声に 出して、かん字の あとが どこから かわるか たしかめよう。



送りがなプリント はってん①(ただしのは どれ?)

なまえ

小3/ただし 書き方を えらぶ(3/5)

ひづけ

まちがいの 書き方は 2しゅるい

× 送りがたりない … かん字の あとの 送りがなが たりない

×投て

× 送りすぎ … かん字が 読む ところまで ひらがなに してしまう

×投なげて

ただし 書き方:投げて

文の _____ に あう 正しい 書き方を 1つ えらんで、○を つけよう。

(1) ぐあいが _____ なる。

悪く

悪るく

悪いく

(2) そとが _____ なって きた。

暗いく

暗らく

暗く

(3) この ふくは _____ かいやすい。

安すくて

安て

安くて

(4) でんきを _____ ください。

消て

消して

消けして

(5) この かわは _____ あぶない。

深かくて

深くて

深て

(6) かりた ほんを _____ 。

返た

返えした

返した

(7) こえの ほうを _____ 。

向むいた

向いた

向た

(8) きのうの あさは とても _____ 。

寒かった

寒むかった

寒った

(9) やまの うえまで _____ 。

登ぼった

登った

登た

(10) この いえに ながく _____ いる。

住んで

住て

住すんで

(11) ともだちと わかれて _____ 。

悲しかった

悲かった

悲なしかった

(12) もう じゅぎょうが _____ いる。

始じまって

始って

始まって

できたら:えらんだ 書き方を 声に 出して、文に あてはめて 読んでみよう。



送りがなプリント はってん①(て・たの かたち) なまえ _____

小3/うごく ことばの て・た形(4/5)

ひづけ _____

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい コップに おちやを そそいで あげる。

れい ノートに ずを うつした。

注 いで _____

写 した _____

考え方

れい1

れい2

① もとの かたちにもどす

そそぐ

うつす

② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける

↓

注ぐ

↓

写す

③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

↓

注いで

↓

写した

線の ことばの かたちになるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ころんだ ともだちを みんなで たすけた。

(2) さかなが ゆっくり うごいて いる。

助 _____

動 _____

(3) あめが ふるので いそいで かえる。

(4) きノウ プールで およいだ。

急 _____

泳 _____

(5) きょう テストを うけて きた。

(6) ともだちと バスに のった。

受 _____

乗 _____

(7) えんぴつを つかって ください。

(8) きノウの しあい に かった。

使 _____

勝 _____

(9) たなから ほんを とって きた。

(10) やくそくを ちゃんと まもった。

取 _____

守 _____

(11) プリントを くばって ください。

(12) にもつを ふたりで はこんだ。

配 _____

運 _____

できたら:こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みになるか たしかめよう。



送りがなプリント はってん①(ぶんしょうの なかで)

なまえ

小3／ぶんしょうの 中で 書く(5／5)

ひづけ

ぶんしょうの 線の ことばの かたちになるように、下の 番ごうの 線に 送りがなを 書こう。

1 やまの えんそく

あさ、みんなで こうえんに ① あつまって、せんせいの おはなしを きいた。やがて えんそくが ② はじまった。やまを ③ のぼって いった。そのとき、けしきが とても ④ うつくしかった。

① 集 _____ ② 始 _____ ③ 登 _____ ④ 美 _____

2 あめの ひ

あさ、あめが ふって いた。わたしは レインコートを ⑤ きて、バスでいて しばらく ⑥ まった。みちの わきを みずが ⑦ ながれて いた。バスは ゆっくり ⑧ すすんだ。

⑤ 着 _____ ⑥ 待 _____ ⑦ 流 _____ ⑧ 進 _____

3 こうえんで

こうえんで ボールが ⑨ ころがって いった。ともだちが すぐに ⑩ おった。やすむ ときにおちやを ⑪ のんで、ひとやすみ した。そのときの おちやは すこし ⑫ にがかった。

⑨ 転 _____ ⑩ 追 _____ ⑪ 飲 _____ ⑫ 苦 _____

できたら:ぶんしょうを はじめから 声に 出して 読み、書いた 送りがなで 読みが 合うか たしかめよう。



送りがなプリント はってん①(もとの かたちにもどす)【こたえ】 なまえ _____

小3／もとの 形に もどす(1／5) ひづけ _____

形が かわった ことばを もとの かたちにもどす

文の 中の かたち 放した → もとの かたち 放す

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちにもどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) なつの ひるは とても 暑かった。

もとの かたち 暑 い

(2) つぎの しあいは ぜったいに 負けない。

もとの かたち 負 ける

(3) かみを 短く きった。

もとの かたち 短 い

(4) まいあさ ろくじに 起きます。

もとの かたち 起 きる

(5) この かばんは 軽くて 持ちやすい。

もとの かたち 軽 い

(6) 「いっしょに ピアノを 習おう」と さそった。

もとの かたち 習 う

(7) ともだちは だれより 速く はしる。

もとの かたち 速 い

(8) ボールを つよく 打って みた。

もとの かたち 打 つ

(9) にもつを いれすぎて かなり 重かった。

もとの かたち 重 い

(10) にわに ひまわりを 植えた。

もとの かたち 植 える

(11) この スープは 温かくて おいしい。

もとの かたち 温 かい

(12) みちを みぎに 曲がった。

もとの かたち 曲 がる

つまずきやすいところ

もどした あとの 送りがなは「もとの かたち」の 送りがな(暑い→い、負ける→ける)。活用形を そのまま 書かせない。
ない・ます・よう や かった・くて の 形も、もとの 形では 同じ 語に なる。

採点：漢字の あとの 送りがなだけで 正(もとの 形全体の ひらがなは 書かなくて よい)。

送りがなプリント はってん①(ない・ます・よう)【こたえ】 なまえ _____

小3／ない・ます・よう の 形(2／5) ひづけ _____

同じ ことばを ない・ます・よう の 形に する

れい 放す(はなす) ない 放さない ます 放します よう 放そう

かん字の あとの 送りがなは、形が かわっても「もとの かたちの 送りがなの はじまり」から 書く。

ことばごとに、ない・ます・よう の 形に なるように かん字の あとに 送りがなを 書こう。

もとの かたち

ない きょうは かさを もたない。

持 たない

持つ

ます いつも ハンカチを もちます。

持 ちます

(もつ)

よう にもつを いっしょに もとう。

持 とう

もとの かたち

ない まだ なにも きめない。

決 めない

決める

ます あした みんなで きめます。

決 めます

(きめる)

よう さあ、はやく きめよう。

決 めよう

もとの かたち

ない きょうは そとで あそばない。

遊 ばない

遊ぶ

ます あした ともだちと あそびます。

遊 びます

(あそぶ)

よう さあ、みんなで あそぼう。

遊 ぼう

もとの かたち

ない この ことは まだ しらべない。

調 べない

調べる

ます あした としょかんで しらべます。

調 べます

(しらべる)

よう みんなで いっしょに しらべよう。

調 べよう

つまずきやすいところ

持たない・持ちます・持とう … おわりの 音は あ・い・お と かわるが、漢字は「持」のまま。

決めない・決めます・決めよう … 音は かわらず、もとの 送りがなの「め」から 送る。

採点：線の はんいだけで よい(文の おわりの「。」までは 書かなくて よい)。

送りがなプリント はってん①(ただしのは どれ?)【こたえ】 なまえ _____

小3/ただし 書き方を えらぶ(3/5)

ひづけ _____

まちがいの 書き方は 2しゅるい

× 送りがたりない … かん字の あとの 送りがなが たりない

×投て

× 送りすぎ … かん字が 読む ところまで ひらがなに してしまう

×投なげて

ただし 書き方:投げて

文の _____ に あう 正しい 書き方を 1つ えらんで、○を つけよう。

(1) ぐあいが _____ なる。

悪く

悪るく

悪いく

×送りすぎ

×送りすぎ

(2) そとが _____ なって きた。

暗いく

暗らく

暗く

×送りすぎ

×送りすぎ

(3) この ふくは _____ かいやすい。

安すくて

安て

安くて

×送りすぎ

×送りがたりない

(4) でんきを _____ ください。

消て

消して

消けして

×送りがたりない

×送りすぎ

(5) この かわは _____ あぶない。

深かくて

深くて

深て

×送りすぎ

×送りがたりない

(6) かりた ほんを _____ 。

返た

返えした

返した

×送りがたりない

×送りすぎ

(7) こえの ほうを _____ 。

向むいた

向いた

向た

×送りすぎ

×送りがたりない

(8) きのうの あさは とても _____ 。

寒かった

寒むかった

寒った

×送りすぎ

×送りがたりない

(9) やまの うえまで _____ 。

登ぼった

登った

登た

×送りすぎ

×送りがたりない

(10) この いえに ながく _____ いる。

住んで

住て

住すんで

×送りがたりない

×送りすぎ

(11) ともだちと わかれて _____ 。

悲しかった

悲かった

悲なしかった

×送りがたりない

×送りすぎ

(12) もう じゅぎょうが _____ いる。

始じまって

始って

始まって

×送りすぎ

×送りがたりない

つまずきやすいところ

送りがたりない=安て・消て(2字目から 落とす)。送りすぎ=悪るく・悪いく(読みの 一部まで 送る)。

書かずに 選ぶ 枚(書く 負担は 小さい。目で たしかめる 枚)。正しい 書き方の 位置は 毎問 かわります。

採点: ○が 正しい 1つについていれば 正。長い・短い だけで 決めさせない。

送りがなプリント はってん①(て・たの かたち)【こたえ】 なまえ _____

小3／うごく ことばの て・た形(4／5) ひづけ _____

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい コップに おちやを そそいで あげる。

れい ノートに ずを うつした。

注 いで

考え方

- ① もとの かたちにもどす
- ② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける
- ③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

写 した

れい1

れい2

そそぐ

うつす

↓

注ぐ

↓

写す

↓

注いで

↓

写した

線の ことばの かたちになるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ころんだ ともだちを みんなで たすけた。

(2) さかなが ゆっくり うごいて いる。

助 けた

(もと：助ける)

動 いて

(もと：動く)

(3) あめが ふるので いそいで かえる。

(4) きノウ プールで およいだ。

急 いで

(もと：急ぐ)

泳 いだ

(もと：泳ぐ)

(5) きょう テストを うけて きた。

(6) ともだちと バスに のった。

受 けて

(もと：受ける)

乗 った

(もと：乗る)

(7) えんぴつを つかって ください。

(8) きノウの しあいに かった。

使 って

(もと：使う)

勝 った

(もと：勝つ)

(9) たなから ほんを とって きた。

(10) やくそくを ちゃんと まもった。

取 って

(もと：取る)

守 った

(もと：守る)

(11) プリントを くばって ください。

(12) にもつを ふたりで はこんだ。

配 って

(もと：配る)

運 んだ

(もと：運ぶ)

つまずきやすいところ

助た・動て のように、もとの 形で 送る 字まで 落とす まちがいが 多い。

もとの 形を 声に 出して、送りがなの はじまりを たしかめさせます。

採点：線のはんいだけで よい (あとにつづく ことばまで 書いても 送りがなが 正しければ 正)。

送りがなプリント はってん①(ぶんしょうの なかで)【こたえ】 なまえ _____

小3／ぶんしょうの 中で 書く(5／5) ひづけ _____

ぶんしょうの 線の ことばの かたちになるように、下の 番ごうの 線に 送りがなを 書こう。

1 やまの えんそく

あさ、みんなで こうえんに ① あつまって、せんせいの おはなしを きいた。やがて えんそくが ② はじまった。やまを ③ のぼって いった。そのとき、けしきが とても ④ うつくしかった。

① 集 まって ② 始 まった ③ 登 って ④ 美 しかった

2 あめの ひ

あさ、あめが ふって いた。わたしは レインコートを ⑤ きて、バスでいて しばらく ⑥ まった。みちの わきを みずが ⑦ ながれて いた。バスは ゆっくり ⑧ すすんだ。

⑤ 着 て ⑥ 待 った ⑦ 流 れて ⑧ 進 んだ

3 こうえんで

こうえんで ボールが ⑨ ころがって いった。ともだちが すぐに ⑩ おった。やすむ ときにおちやを ⑪ のんで、ひとやすみ した。そのときの おちやは すこし ⑫ にがかった。

⑨ 転 がって ⑩ 追 った ⑪ 飲 んで ⑫ 苦 かった

つまずきやすいところ

線の ことばは かなで 見える ので、もとの 形を 先に 思い うかべさせ、漢字の あとの はじまりを たしかめさせます。
答えは 文章の 下の 番ごうの 欄に 書く。となりの ひらがなの 部分は 採点に 入れない。

採点：線の はんいだけで 正（文章を 声に 出して 読み、読みが 合うか たしかめさせます）。